

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

評価対象年度	2014年度		
施設名	町田市美術工芸館		
所在地	町田市忠生3-6-22		
施設ホームページURL			
指定管理者名	社会福祉法人まちだ育成会		
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番地1		
指定期間	2010年4月1日～2015年3月31日		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 施設概要

設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、利用者一人ひとりの社会参加と自立した生活を支援していく事を目的とする。
設置根拠法令・条例	町田市授産センター条例
施設概要	<p>【施設概要】</p> <p>(1)敷地面積 1,999.93㎡(東京都との無償貸付契約)</p> <p>(2)施設の構造 鉄筋コンクリート造2階建て</p> <p>(3)施設の面積 989.16㎡(1階美術工芸館部分)</p> <p>(4)施設の開設年月 1981年5月</p> <p>【事業概要】</p> <p>(1)町田市美術工芸館(以下「美術工芸館」という。)の事業の実施</p> <p>(2)障害者総合支援法に規定する就労継続支援事業を行うこと。</p> <p>(3)就労継続支援事業の利用契約書及び重要事項説明書等に対する承諾に関すること。</p> <p>(4)利用料の収受に関すること。</p> <p>(5)美術工芸館の施設及び設備の維持管理に関すること。</p> <p>(6)事業報告書の提出に関すること。(年1回以上の提出)</p>

3. 昨年度の課題

内容	2013年度においては、社会生活に必要な適応能力を高めるための生活支援として、男女関係や購入トラブルの未然防止及び交通安全知識の向上等の勉強会を外部講師を招いて利用者を実施したが、研修効果が限定的である。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	A 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、昨年度の課題への対応等)	指定管理者が行う業務のひとつとして、障害種別に関わらず共通のサービスを利用者に提供する必要がある。町田市美術工芸館では、利用者処遇において、利用者の意見や要望を聞く機会を多く持ち、個別支援計画の中に作業、生活、余暇支援等を取り込み、多様なニーズに対応できるようにし、利用者が満足でき、かつ目標を達成できるような支援を行っていた。また、地域に開かれた施設運営を図るよう、地域社会活動等への参加を積極的に図っていた。2013年度の課題とされた利用者勉強会には保護者も交えて実施されていた。その他、施設の運営管理、法令順守などは業務仕様書、基本協定書、年度協定書に基づき誠実にっており、全般的に良好な運営が行われていた。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	この4～5年での大きな変化として、ご利用者の高齢化、障がいの重度化による生活支援の強化に取り組んできました。余暇活動の充実や、職員の介護技術向上のための研修参加、給食提供の個別配慮など、様々に改善を図ってきました。また、地域に向けたお祭り「美工フェスティバル」の開催や、町内会イベントへの協力など、地元との繋がりはとても良好です。 しかしながら、施設での作業の様子やイベント等の情報発信についてはまだ不十分であり、今後ホームページや定期的な広報誌の発行などを計画中です。また、順調にご利用者数が増える一方で、増えた分の工賃の確保が課題となっています。
町田市指定管理者の候補者選考及び評価委員会の意見	※町田市指定管理者の候補者選考及び評価委員会の意見の欄は該当があった場合のみ

5. サービスの質に関する評価

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者満足度	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	—	—	—	2014年度は満足度調査を実施しませんでした。2015年度からは実施します。

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
目標値	—	80	80	80	—
実績値	—	85	80	85	—
達成率	—	106%	100%	106%	—

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
送迎サービス実施率	A:希望者の90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	100%	100%	A	利用者及び保護者からの要望の強い、送迎サービス事業については、利用希望者全員の送迎サービスの継続。 利用希望者 24人 利用実施者 24人 待機者 0人

指定期間内における実績(単位:%)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
目標値	100	100	100	100	100
実績値	50	100	100	100	100
達成率	50%	100%	100%	100%	100%

指標	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
自主事業開催回数	A:12回以上 B:10回以上11回以下 C:9回以下	12回	12回	A	送迎サービス(開所日は毎日実施) 休日活動(年10回実施) 美エフェスティバル(年1回実施)

指定期間内における実績(単位:回)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
目標値	6	12	12	12	12
実績値	5	12	12	12	12
達成率	83%	100%	100%	100%	100%

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	自主事業として実施している送迎事業は、送迎ニーズの急激な増加に対応している。休日活動は、利用者の休日の過ごし方の幅を広げるサービスとして、利用者及び保護者からも高い評価を得ている。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否	判定コメント
平等利用の確保	施設の設置目的に沿ったサービスを平等に提供しているか	個別支援計画の作成	利用者ごとに個別支援計画が策定されていた	適	一人ひとりに適したサービスの提供ができるよう面談を行い、本人の意見意向を尊重していること個別支援計画書にて確認した。
	利用者からのモニタリングを実施しているか	利用者アンケート及び会議	利用者との会議を月1回開催し、同時に利用者アンケートを実施している	適	利用者会議における利用者アンケートをもとに、作業の選択や余暇活動の希望を聞き、利用者の適材適所の配置や余暇活動支援の決定に生かしていることをヒアリングにて確認した。
施設の運営方針・管理方針	設備機器の安全確認・保守点検	年1回以上の実施	昇降機点検: 月1回 消防設備点検: 年2回 電気保守点検: 年6回 水質検査: 年1回 冷温水機点検: 年2回 貯水槽清掃: 年1回	適	点検結果報告書等にて確認した。
	施設と法人本部の連携	経営企画会議の開催	経営企画会議: 毎月1回	適	経営企画会議は係長以上の職員で構成し、重要な課題や情報の共有を図っていることを、会議録にて確認した。
自主事業	休日活動の実施	年間10回の実施	10回の実施	適	福祉サービス提供実績記録票及び事業報告書にて確認した。
	送迎事業の実施	希望者全員の送迎	希望者全員を送迎 2014年度: 24人	適	送迎サービス希望者増に対応するため10人乗り送迎車2台のほか、軽自動車でも送迎していることを現地調査にて確認した。
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定が整備されていた	適	迅速に対応できるよう情報公開体制が整えられていることを、情報公開規定にて確認した。
	適切な取扱	施錠された書庫で保存	鍵のついた書庫での管理と施錠	適	紙類の個人情報に係るものは、鍵のかかる書庫で施錠管理し、パソコン上の個人情報はパスワードによるアクセス制限がされていることをヒアリングにて確認した。
苦情対応	事故トラブルの未然防止	ヒヤリハット台帳の作成	ヒヤリハット台帳を作成し、職員ミーティングで共有している	適	ヒヤリハット台帳に記載があることを確認し、毎朝の職員ミーティング時に報告されていることを、ヒアリングにて確認した。
	苦情対応記録	苦情発生の抑制と迅速な対応	苦情相談ポストの設置	適	苦情相談ポストが設置されていることを確認した。また、苦情解決責任者のもと、各種苦情を個人情報を守りながら把握し、その解決を図っていることをヒアリングにて確認した。
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練を年2回以上	回数: 年2回	適	消防計画及び業務仕様書どおりに実施されていた。事業報告書にて確認した。
	各種保険への加入	傷害保険への加入	事故やけがに対応可能な傷害保険への加入	適	求める内容の保険に加入していることを、実地調査時に保険証

			加入していた		書から確認した。
人的安定性	職員研修	年間16回の実施	内部研修5回・外部研修11回を実施	適	年間の研修計画に基づき、内外の研修に参加していることを、事業報告書にて確認した。
	職員配置	法律の人員配置基準(利用者7.5人に1人)	利用者4.2人に1人を配置	適	国の定めた基準以上に配置していることを、事業報告書にて確認した。
管理経費の縮減	経費の適正執行	価格情報の把握	消耗品のインターネット購入	適	インターネットでの購入や、広告チラシによる価格情報の把握に努めていることをヒアリングにて確認した。
	管理経費の縮減	節電の推進	施設内外の一部消灯	適	施設内は利用者サービスに影響のない範囲内で節電に努め、敷地内の夜間の外灯点灯時間も短縮していることを現地調査にて確認した。
地元貢献	地域との交流	地元町内会等との交流	回数:年18回	適	地元に着した施設となるよう交流を大切にしていることを事業報告書及び現地調査にて確認した。
	地産地消	地元野菜の利用	給食に利用	適	給食に地元野菜を取り入れていることを、現地調査にて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2010		2011		2012		2013		2014	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	81,600	81,021	81,222	80,740	89,406	87,436	93,718	88,291	99,690	99,846
	利用料金	3,700	3,684	3,860	3,949	4,200	4,570	4,700	4,474	5,830	5,693
	授産事業	2,100	2,006	1,900	2,453	2,050	1,960	3,600	3,011	2,000	1,856
	その他	4,753	4,875	9,110	9,899	8,325	7,213	4,614	7,041	4,144	5,701
	施設整備等	0	0	2,000	2,008	0	0	0	2,460	0	0
	財務活動	0	0	0	0	0	5,000	0	2	28,000	28,000
	計	92,153	91,586	98,092	99,049	103,981	106,179	106,632	105,279	139,664	141,096
支出	人件費	58,841	57,804	61,848	62,824	73,201	72,909	70,818	64,035	68,996	67,578
	維持管理経費	17,424	16,916	16,819	16,928	16,286	18,890	15,292	19,071	18,825	21,734
	自主事業	9,135	8,838	9,197	9,922	9,452	9,923	9,955	8,344	9,855	10,005
	その他	11,660	11,670	4,780	4,780	7,890	12,890	9,426	9,426	39,364	39,364
	施設整備等	220	223	1,867	1,867	0	0	120	3,209	0	107
	財務活動	0	0	5,000	5,000	1,000	25,000	0	2	0	0
	計	97,280	95,451	99,511	101,321	107,829	139,612	105,611	104,087	137,040	138,788
総計(収入-支出)	-5,127	-3,865	-1,419	-2,272	-3,848	-33,433	1,021	1,192	2,624	2,308	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表団体を記載する。

	2010	2011	2012	2013	2014
経常利益率	2.7	5.5	0.4	2.8	6.3
負債比率	9.3	11.6	17.9	17.2	26.3

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果	所管課所見
適	2012年の大きなマイナスは積立金によるものである。2013年以降は黒字に転じており、問題ないと判断できる。